

2012

メルボルンマラソン

開催日：2012.10.14(SUN)

開催種目

マラソン・ハーフマラソン・
10kmラン・5kmラン・3kmウォーク

新緑のガーデンシティを
駆け抜ける

現代建築が調和した
町並みを背に、

ビクトリア王朝風の建物と



大会のお申し込み、お問い合わせは

メルボルンマラソン日本事務局

〒104-8460 東京都中央区八重洲2-10-3

国際興業ビル1F

Tel:03-3510-7376

Fax:03-3273-0032

info@melbournemarathon.jp

MELBOURNE

AUSTRALIA



大会についての最新の詳しい情報やツアー情報はメルボルンマラソン日本語公式サイトで確認出来ます。

メルボルンマラソン

検索

又は

<http://www.melbournemarathon.jp>



メルボルンマラソンコース案内

Melbourne Marathon

スタートは全豪オープンテニスの会場となるメルボルン・パーク・テニスセンター前。
 1854年に国内初の駅として完成した英国風のフリンドース・ストリート駅前を左折して、ヤラ川を越えると右側には文化の中心とも言える現代風のアート・センター、左側にはガーデンシティ・メルボルンを代表するアレクサンドラ・ガーデン、クイーン・ビクトリア・ガーデン、ロイヤル・ボタニック・ガーデンが続く。
 新緑の街路樹が目鮮やかな通りを抜けると、やがてアルバート・レークが見えてくる。
 F1 レースのコースにもなる湖周回コースを過ぎると、ポートフィリップ湾の海岸線に出る。ここが丁度15キロ地点。さわやかな海風に吹かれながら、開放感いっぱいのシーサイドロードを往復すると30キロ地点。ここからは、シティを目指して元来た道を戻すが、35キロからは行きに左手に見た英国風の公園を周回する。木々の緑が疲れた身体を癒やしてくれる。セントポールズ大聖堂を正面に見て右折すると40キロ。1956年のメルボルン・オリンピックに合わせて建造された10万人収容のメルボルン・クリケット・グラウンド(MCG)のフィニッシュ地点はもう目の前だ。



フリンドース・ストリート駅
 1日25万人が利用するターミナル駅。1854年に国内初の駅として完成したエドワード王朝風の建築はメルボルンのシンボルとなっている



ロイヤル・ボタニック・ガーデン
 1842年に造園された歴史ある英国式庭園。約40万㎡の敷地内には、1万2000種以上の植物が植えられ、50種類以上の野鳥が生息している。メルボルンを代表する植物園



アート・センター
 1982年にオープンした近代アートセンター。メルボルンの現代アートをリードする大型の公立施設。音楽、演劇などを上演するホールやシアター、スタジオがある舞台芸術施設。



アルバート・パーク
 世界が注目するF1グランプリが毎年開催される。F1開催中は公道を使用するため過酷なレースが開催される。



レーン・ウェイ (シティーのおしゃれな路地)
 カフェやレストラン、ショップが並び、メルボルンで最も活気があり、おしゃれなスポットとなっている。19世紀中～後期に作られたオーストラリアのカフェ文化が発祥した石畳の小径や19世紀建設のアーケードなど街探索におすすめ



ヤラ・バレー
 50以上のワイナリーが点在するオーストラリアを代表するワインカンントリー。1837年に生産が始まり、名門とされるワイナリーも数多い。



グレート・オーシャン・シャンロード
 オーストラリアで最も美しい海岸線として有名。中でも、海中からそびえ立つ十二使徒と呼ばれる奇岩群は自然が作りだした芸術は迫力満点。

メルボルン郊外の見所



セント・キルダ
 メルボルン市内からすぐの人気ビーチ・エリア。ウォーキングやサイクリングを楽しむのももちろん。ショッピングエリアとしても有名。毎週日曜日にはサンデーマーケットが開かれる。

Course
 ■ Marathon (42.195km)
 ■ Half Marathon (21.1km)

走りながら見るこの辺りの眺めは最高!



メルボルン・クリケット・グラウンド(MCG)
 1956年のメルボルンオリンピックに合わせて完成したクリケット競技場。ワールドカップアジア最終予選で日本VSオーストラリア戦が行われたことでも知られている。



メルボルン・パーク ナショナル・テニスセンター
 テニス・グランドスラムの全豪オープンが開催され、世界各国から名プレーヤーやファンたちが集結する会場はシティから徒歩で15分の便利な立地



ロイヤル・エキシビション・ビルディング
 1880年に万博開催のために建設された。19世紀に世界各地で開催された万博の歴史を伝える貴重な建造物として2004年にユネスコの世界文化遺産に登録された。

